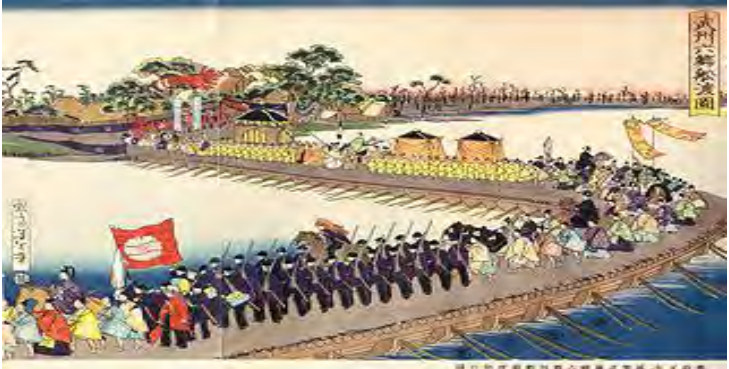
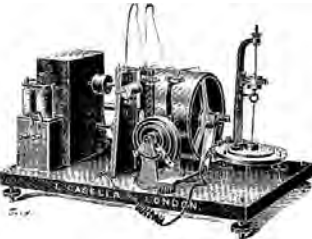


日本における大地震の歴史

時代	発生日・地震名・マグニチュード	被災状況	社会状況
明治時代（一八六八年～一九一二年）	1872年3月14日（明治5年2月6日） 島根県浜田市でM7. 1の地震が発生	死者552人	◎明治とは  「明治」の由来は、易経の「聖人南面して天下を聴き、明に嚮（むか）ひて治む」の明と治で「明治」となりました。 ※聖人が帝位に就いて天下のことを聴けば（政治を行えば）、世の中は明るくよい方向に治まる意だそうです。  明治天皇の東京行幸 ◎地震観測網整備  1885年から各地の气象台や測候所に配備されたグレイ-ミルン地震計により観測所による地震報告が開始された。
	明治13年2月22日 横浜でM5. 5～6の地震が発生した。	煙突多数倒壊	
	明治14年10月25日 国後島（くなしり）でM7の地震が発生した。	詳細は不明	
	明治22年7月28日 熊本でM6. 3の地震が発生した。	死者20人	
	明治24年10月28日 濃尾平野北西部でM8の地震が発生した。根尾谷断層の発生（濃尾地震）	最大震度7相当と推定される 死者・行方不明者7273人 全壊家屋は140000棟以上	
	 根尾谷断層	 壊れた名古屋城	根尾谷断層は、上下に6m、左横に4m動いた。 ◎将来の地震発生は ※温見断層（北西部） 平均活動間隔 2200～2400年 ※根尾谷断層帯 平均活動間隔 2100～3600年 ※梅原断層帯 平均活動間隔 14000～15000年
	 倒壊した家屋	 倒壊した長良川鉄橋	

※グレゴリオ暦が採用され、明治5年12月2日（旧暦）の翌日を明治6年1月1日（1873年1月1日）の新暦とした。

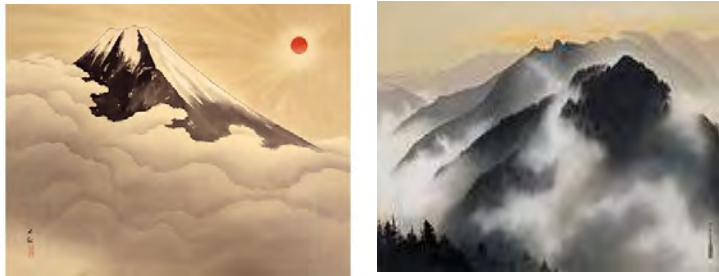
日本における大地震の歴史

時代	発生日・地震名・マグニチュード	被災状況	社会状況
明治時代（一八六八年～一九一二年）	明治25年12月9日 石川・富山県でM6. 4の地震が発生した	死者2人	◎明治三陸地震 過去の教訓が未来につながらない！  家屋を破壊し人畜を流亡する  津波被害にあい、埋葬される母親を見送る子供や村人
	明治26年6月4日 色丹島沖でM7. 7の地震が発生した。	津波あり	
	明治27年3月22日 根室半島沖でM7. 9～8. 2の地震発生 6月20日に東京でM7の地震が発生 10月22日に山形県でM7の地震発生	死者1人 死者31人 死者726人	
	明治28年1月18日 霞ヶ浦でM7. 2の地震が発生した。	死者6人	
	明治29年1月9日 茨城県沖でM7. 3の地震が発生した。 6月15日に三陸沖でM8. 2～8. 5の地震が発生した。Mw8. 5（明治三陸地震） 6月16日に三陸沖でM7. 5の地震が二回発生した。 8月31日に秋田県と岩手県の県境でM7. 2の地震が発生した。	詳細不明 津波地震 死者・行方不明2万1959人 最大の余震 死者209人	
	明治30年2月20日 宮城県沖でM7. 4の地震が発生した。 8月5日に三陸沖でM7. 7の地震発生	地割れや液状化、家屋に被害 津波により浸水被害	

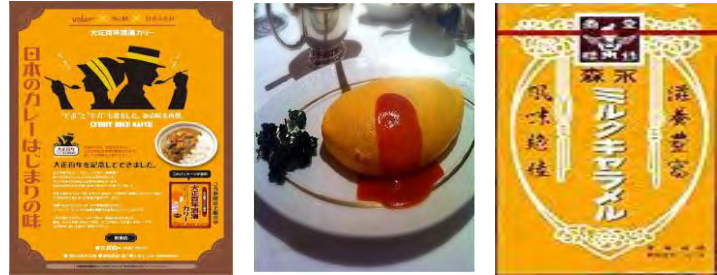
日本における大地震の歴史

時代	発生日・地震名・マグニチュード	被災状況	社会状況
明治時代（一八六八年～一九一二年）	明治31年4月23日 宮城県沖でM7. 2の地震が発生した。 9月1日に石垣島東方沖でM7の地震	詳細は不明 詳細は不明	◎文明開化 ※食事  牛鍋  アンパン  ビーフシチュー  アイスクリーム  ビール  カクテル ※鹿鳴館の女性の装い  ※銀座通りの街並み 
	明治32年3月7日 紀伊大和でM7の地震が発生した。 11月25日に日向灘でM7. 1の地震	死者7人 詳細は不明	
	明治33年5月12日 宮城県北部でM7の地震が発生した。	死傷者17人	
	明治34年8月9日、10日 青森県東方沖でM7. 2とM7. 4の地震	死者18人	
	明治35年1月30日 青森県でM7の地震が発生した。	死者1人	
	明治38年6月2日 広島・愛媛県付近でM7. 2の地震発生 7月7日に福島県沖でM7. 1の地震	死者11人 詳細は不明	
	明治42年3月13日 千葉県房総沖でM7. 5の地震が発生 8月14日に姉川でM6. 8の地震発生 8月29日に沖縄県付近でM6. 2地震 11月10日に宮崎県でM7. 6地震	詳細は不明 死者41人 死者2人 詳細は不明	
	明治44年6月15日 喜界島でM8の地震が発生した。	死者12人	

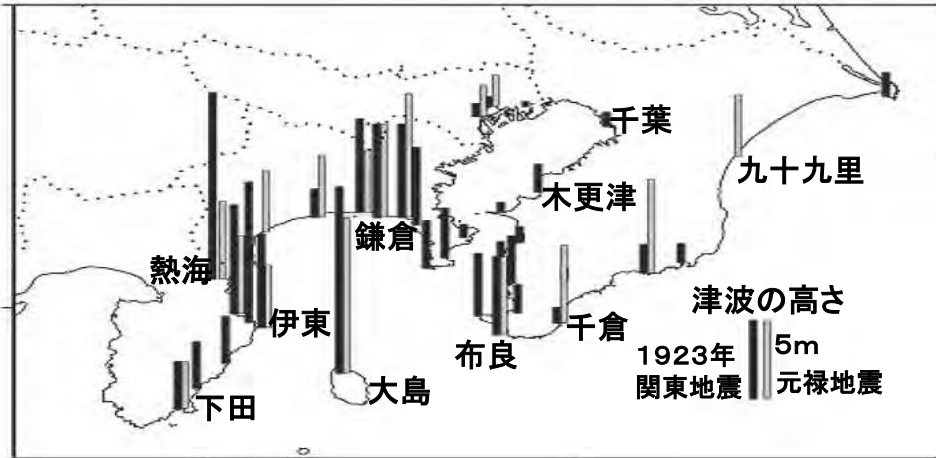
日本における大地震の歴史

時代	発生日・地震名・マグニチュード	被災状況	社会状況
大正時代（一九一二年～一九二六年）	大正2年2月20日 北海道日高沖でM6. 9の地震が発生	詳細は不明	◎大正とは  「大正」の由来は、易経の「大亨以正、天之道也」の大と正で「大正」となりました。 ※天が民の言葉を嘉納（かのう）し、政が正しく行われる意だそうです。 この時代にはさまざまな出来事が発生し、それらが日本の歴史を変えてきた重要な出来事となっています。 ◎大正ロマン ※画家  横山大観  竹久夢二
	大正3年1月12日 桜島でM7. 1の地震が発生した。 3月15日に秋田県でM7. 1の地震	死者29人 死者94人	
	大正4年1月6日 石垣島北西沖でM7. 4の地震が発生 3月18日北海道十勝沖でM7の地震 11月1日宮城県沖でM7. 5の地震	詳細は不明 死者2人 小津波	
	大正5年11月26日 赤石付近でM6. 1の地震が発生した。	死者1人	
	大正6年5月18日 静岡付近でM6の地震が発生した。	死者2人	
	大正7年9月8日 択捉島（えとろふ）沖でM8の地震が発生した。Mw8. 3	死者24人	
	大正10年12月8日 千葉県・茨城県の県境でM7の地震発生	家屋倒壊	
	大正11年4月26日 東京湾浦賀水道でM6. 8の地震が発生 12月8日島原でM6. 9の地震が発生	死者2人 詳細は不明	

日本における大地震の歴史

時代	発生日・地震名・マグニチュード	被災状況	社会状況
大正時代（一九一二年～一九二六年）	大正12年6月2日 茨城県沖でM7. 1の地震が発生した。 7月13日九州南東沖でM7. 3の地震が発生した。 9月1日関東でM7. 9の地震が発生した。Mw8. 2（関東地震） ◎関東地震（震源と震源域） 	詳細は不明 詳細は不明 死者・行方不明者は日本災害史上最悪10万5385人 全壊・焼失家屋は約37万戸	※大衆雑誌  ※食べ物  ライスカレー オムレツライス キャラメル ※ポスター  サクラビール 森永の菓子 三越のお中元

日本における大地震の歴史

時代	発生日・地震名・マグニチュード	被災状況	社会状況
大正時代（一九一二年～一九二六年）	◎関東地震（東京の火災地域） 		◎関東地震（経済損失） 1923年9月1日午前11時58分大正関東地震が発生した。地震による被害は1府9県におよび、死者は10万人をこえ、経済損失は約60億円（当時のGDP：国内総生産に対して約4割）と、非常に大きな打撃を与えた地震であった。関東大震災は日本経済に大きな打撃を与え、昭和恐慌につながる日本経済の破局の先触れとなった。
	◎関東地震（津波の高さ分布） 		◎関東地震（恐ろしいデマ） 関東地震により戒厳令がしかれるなか、朝鮮人暴動のデマが流れ、住民が組織する自警団によって数千人の朝鮮人、数百人の中国人が殺害された。神奈川警察署鶴見分所長の任に就いていた大川は自警団らの群衆から殺害されるおそれのあった朝鮮人・中国人らおよそ300名を守ったことで知られる  大川常吉・鶴見警察署長 故大川常吉氏之碑 関東大震災当時流言蜚語により激昂した一部暴民が鶴見に住む朝鮮人を虐殺しようとする危機に際し当時鶴見警察署長故大川常吉氏は死を賭して其の非を強く戒め三百余名の生命を救護した事は誠に美徳である故私達は茲に故人の冥福を祈り其の徳を永久に讃揚する 一九五三年三月二十一日 在日朝鮮統一民主戦線 鶴見委員会

日本における大地震の歴史

時代	発生日・地震名・マグニチュード	被災状況	社会状況
大正時代（一九一二年～一九二六年）	◎関東地震（吉原公園） 		◎大正デモクラシー 大正期に興った自由主義・民主主義的な風潮、およびその運動。世界的なデモクラシーの発展とロシア革命を背景に、護憲運動や普通選挙運動をはじめとして、労働運動・社会主義運動などが高揚した。 ※大正デモクラシーをきらびやかにいろどった「モダン・ガール」たち  
	◎関東地震（船にて避難する人々） 		 

日本における大地震の歴史

時代	発生日・地震名・マグニチュード	被災状況	社会状況
大正時代（一九一二年～一九二六年）	大正12年9月2日 千葉県南東沖でMw7.8の地震が発生	詳細は不明	◎大正時代の遊び   タイシャウ オモチャ ツクシ
	大正13年1月15日 神奈川西部でM7.3の地震が発生した。 7月1日に北海道東方沖でM7.5地震 8月15日に茨城県沖でM7.2の地震 12月27日に網走沖でM7の地震発生	死者19人 詳細は不明 詳細は不明 詳細は不明	
	大正14年5月23日 兵庫県北部でM6.8の地震が発生した。	死者428人	
	大正15年6月29日 沖縄本島北西沖でM7の地震が発生 8月7日宮古島近海でM7の地震発生	詳細は不明 詳細は不明	

日本における大地震の歴史

時代	発生日・地震名・マグニチュード	被災状況	社会状況
昭和時代（一九二六年～一九八九年）	昭和2年3月7日 京都府丹後でM7. 3の地震が発生した。	死者2925人	◎昭和とは  「昭和」の由来は、四書五経の一つ書経堯典(ぎょうてん)の「百姓昭明、協和萬邦」(百姓(ひゃくせい)昭明にして、萬邦(ばんぱう)を協和す)の昭と和で「昭和」となりました。 ※国民の平和および世界各国の共存繁栄を願う意だそうです。
	昭和3年5月27日 岩手県沖でM7の地震が発生した。	詳細は不明	
	昭和5年10月17日 石川県大聖寺でM6. 3の地震が発生 11月26日北伊豆でM7. 3の地震	死者1人 死者272人	◎正月風景  女の子の羽子板つき  晴れ着姿の電話交換手  新年の記念写真  カルタとりの家族のだんらん
	昭和6年2月20日 日本海北部でM7. 2の地震が発生した。 3月9日三陸沖でM7. 2の地震発生 9月21日西埼玉でM6. 9の地震発生 11月2日に日向灘でM7. 1の地震	詳細は不明 詳細は不明 死者16人 死者2人	
	昭和7年9月23日 日本海北部でM7. 1の地震が発生した。	詳細は不明	
	昭和8年3月3日 三陸沖でM8. 1の地震が発生した。 Mw8. 4(昭和三陸地震) 6月19日宮城県沖でM7. 1の地震 9月21日能登半島でM6の地震発生	死者・行方不明者3064人 大津波が発生 詳細は不明 死傷者60人	
	昭和9年2月24日 硫黄島近海でM7. 1の地震が発生した。	詳細は不明	

日本における大地震の歴史

時代	発生日・地震名・マグニチュード	被災状況	社会状況
昭和時代（一九二六年～一九八九年）	昭和10年7月11日 静岡でM6. 4の地震が発生した。 10月18日三陸沖でM7. 1の地震発生	死者9人 詳細は不明	◎正月風景  家族総出で餅つき
	昭和11年2月21日 河内大和でM6. 4の地震が発生した。 11月3日宮城県沖でM7. 4の地震 12月27日新島近海でM6. 3の地震	死者9人 詳細は不明 死者3人	 竹馬遊び
	昭和12年2月21日 択捉(えとろふ)島南東沖でM7. 6の地震が発生した。 7月27日宮城県沖でM7. 1の地震	詳細は不明 詳細は不明	 こま回し
	昭和13年5月23日 茨城県沖でM7の地震が発生した。 5月29日屈斜路湖でM6. 1の地震 6月10日宮古島北西沖でM7. 2地震 11月5日福島県東方沖でM7. 5地震	詳細は不明 死者1人 詳細は不明 死者1人	 正月の芸妓
	昭和14年3月20日 日向灘でM6. 5の地震が発生した。 5月1日男鹿半島でM6. 8の地震発生	死者1人 死者27人	 獅子舞
	昭和15年8月2日 積丹半島沖でM7. 5の地震が発生した。	死者10人	 歌会始

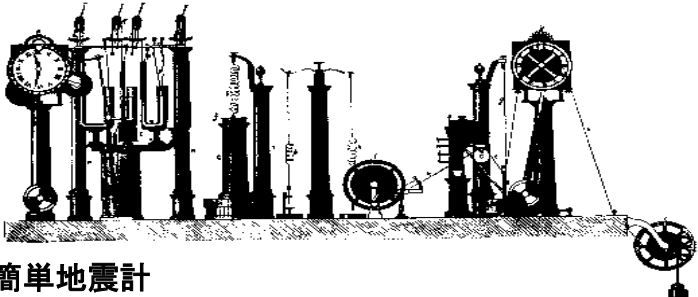
日本における大地震の歴史

時代	発生日・地震名・マグニチュード	被災状況	社会状況
昭和時代（一九二六年～一九八九年）	昭和16年7月15日 長野でM6. 1の地震が発生した。 11月19日に日向灘でM7. 2の地震	死者5人 死者2人	◎昭和東南海地震（昭和19年12月7日） 当時、日本は太平洋戦争の最中で、軍需工場の被害状況を軍部は情報統制し隠ぺいをした。被災地は救援活動もなく、孤立無援となった。
	昭和18年6月13日 青森県東方沖でM7. 1の地震が発生 9月10日鳥取でM7. 2の地震が発生 10月13日長野県北部でM5. 9の地震	詳細は不明 死者1083人 死者1人	
	昭和19年12月7日 三重県沖でM7. 9の地震が発生した。 Mw8. 2（昭和東南海地震）	死者・行方不明者1223人	◎三河地震（昭和20年1月13日） 
	昭和20年1月13日 三河地方でM6. 8の地震が発生した。 （三河地震） 2月10日青森県東方沖でM7. 1地震	死者・行方不明2306人 津波あり 死者2人	◎昭和南海地震（昭和21年12月21日） 
	昭和21年12月21日 和歌山県沖でM8の地震が発生した。 Mw8. 4（昭和南海地震） 同日の19時18分に択捉島南東沖でM7. 1の地震が発生した。	死者・行方不明1443人 房総から九州に津波 詳細は不明	

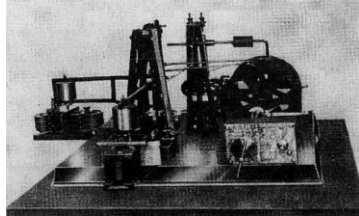
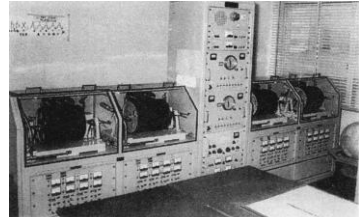
日本における大地震の歴史

時代	発生日・地震名・マグニチュード	被災状況	社会状況
昭和時代（一九二六年～一九八九年）	昭和22年4月14日 択捉（えとろふ）でM7. 1の地震が発生 9月27日与那国島近海でM7. 4地震	詳細は不明 死者5人	◎ポスター ※戦争の時代  女子通信戦士募集  御国を守れ 歯を護れ  日本中ノヨイコトモガ 毎日一銭ツツ貯蓄スレバ 一年四百餘機ノ セントウ機ガ ツクレマス 一銭貯蓄呼掛け
	昭和23年4月18日 和歌山県南方沖でM7の地震が発生 6月15日紀伊水道でM6. 7の地震 6月28日福井県でM7. 1の地震が発生した。（福井地震）	詳細は不明 死者2人 死者・行方不明3769人 福井地震を機に気象庁が震度7を制定	※戦後の時代（ラジオが主流）  衣類の支援依頼  体が小さいが大石  銭湯に客がおらず
	昭和24年7月12日 安芸（あき）灘でM6. 2の地震が発生 12月26日栃木県北西部でM6. 4の地震が発生した。	死者2人 死者・行方不明10人	
	昭和25年2月28日 宗谷東方沖でM7. 5の地震が発生した。	詳細は不明	※戦後の時代（娯楽がテレビに乗り換え）  月光仮面  七人の侍  快活ハリマオ
	昭和26年7月12日 小笠原諸島西方沖でM7. 2の地震発生	詳細は不明	
	昭和27年3月4日 十勝沖でM8. 2の地震が発生した。 3月7日大聖寺でM6. 5の地震が発生 7月18日吉野でM6. 7の地震が発生	死者・行方不明は33人 死者7人 死者9人	

日本における大地震の歴史

時代	発生日・地震名・マグニチュード	被災状況	社会状況
昭和時代（一九二六年～一九八九年）	昭和28年11月26日 房総沖でM7. 4の地震が発生した。	詳細は不明	◎地震観測の歴史  明治8年イタリア製の地震計を内務省地理寮構内（現在の東京都赤坂区）に設置して、6月1日から観測が開始されました。 ※全国的に地震の震度観測を開始 明治17年12月に「地震報告心得」を制定し全国的な地震観測・調査が始まりました。 ◎地震計の歴史 ※パルミエリ地震計 明治8年我が国最初の地震観測機器  ※簡単地震計  この地震計は平方方向の動きを一枚の板の上に記録するようにした器械で、明治13年前後に作成されました。
	昭和30年7月27日 徳島県南部でM6. 4の地震が発生した。	死者1人	
	昭和31年9月30日 福島県白石でM6の地震が発生した。	死者1人	
	昭和33年3月11日 石垣島近海でM7. 2の地震が発生した。 11月7日択捉島沖でM8. 1の地震	死者2人 詳細は不明	
	昭和35年3月21日 三陸沖でM7. 2の地震が発生した。 5月23日にチリ地震の津波が到来した。	詳細は不明 死者142人	
	昭和36年2月27日 日向灘でM7の地震が発生した。 8月12日釧路沖でM7. 2の地震発生 8月19日北美濃でM7の地震が発生	死者2人 詳細は不明 死者8人	
	昭和37年4月23日 北海道広尾沖でM7. 1の地震が発生 4月30日宮城県北部でM6. 5の地震	詳細は不明 死者3人	

日本における大地震の歴史

時代	発生日・地震名・マグニチュード	被災状況	社会状況
昭和時代（一九二六年～一九八九年）	昭和38年10月13日 択捉（えとろふ）島沖でM8. 1の地震	詳細は不明	※強震計  この装置は、強い地震動を記録するために昭和11年頃に作成された強震計で中央気象台式です。
	昭和39年6月16日 新潟県でM7. 5の地震が発生した。	死者26人	
	昭和40年4月20日 静岡県でM6. 1の地震が発生した。	死者2人	※電磁地震計観測装置の記録装置  昭和39年頃、電磁式地震計は、磁石を利用した地震計で、その計測データを各ドラムに記憶する装置です。
	昭和41年3月13日 与那国島近海でM7. 3の地震が発生	死者2人	
	昭和43年2月21日 えびの高原付近でM6. 1の地震が発生 4月1日 日向灘でM7. 5の地震発生 5月16日 十勝沖でM7. 9の地震発生 Mw8. 3（十勝沖地震） 6月12日 三陸沖でM7. 2の地震発生 10月8日 小笠原諸島西方沖でM7. 3の地震が発生した。	死者3人 死者1人 死者・行方不明52	※震度計 震度計 計測部 地震を感知し、それを電気信号に変換する  処理部 計測部から送られた信号から震度を計算 観測開始以来、震度観測は体感で行ってききましたが、気象庁は平成3年に世界に先駆けて震度計を開発しました。平成8年からは、震度観測は全面的に震度計で行うこととした。
	昭和44年8月12日 色丹島沖でM7. 8の地震が発生した。 9月9日 岐阜県中部でM6. 6の地震	詳細は不明 死者1人	
	昭和45年5月27日 小笠原諸島西方沖でM7. 1の地震発生	詳細は不明	

日本における大地震の歴史

時代	発生日・地震名・マグニチュード	被災状況	社会状況
昭和時代（一九二六年～一九八九年）	昭和46年8月2日 十勝沖でM7の地震が発生した。	詳細は不明	◎基盤的地震観測網 日本全域にはりめぐらされた3種類の地震計で、人体に感じない微弱な振動から大きな被害を及ぼす強震動に至るさまざまな「揺れ」を正確に観測しています。 ※強震観測網（強い地震動用）   K-NET観測施設 K-NET強震計 ※高感度地震観測網（微弱な地震用）   Hi-net観測施設 観測井戸の掘削風景 ※広帯域地震観測網（地球の裏側の揺れもとらえる）   F-net観測施設外 F-net広帯域地震計
	昭和47年2月29日 八丈島東方沖でM7の地震が発生した。 12月4日八丈島東方沖でM7. 2地震	詳細は不明 詳細は不明	
	昭和48年6月17日 根室半島沖でM7. 4の地震が発生した。 6月24日根室半島沖でM7. 1地震	詳細は不明 詳細は不明	
	昭和49年5月9日 伊豆半島沖でM6. 9の地震が発生した。 11月30日鳥島近海でM7. 3の地震	死者30人 詳細は不明	
	昭和50年6月10日 北海道東方沖でM7の地震が発生した。 6月29日日本海西部でM7. 3の地震	詳細は不明 詳細は不明	
	昭和53年1月14日 から12月にかけてM7以上の地震が6件も発生した。	死者は53人	
	昭和55年6月25日 伊豆半島沖でM6. 7の地震が発生した。 9月25日千葉県北西部でM6の地震	詳細は不明 死者2人	
	昭和56年1月19日 三陸沖でM7の地震が発生した。	詳細は不明	

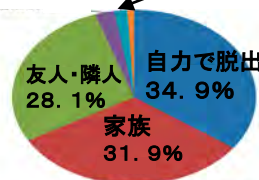
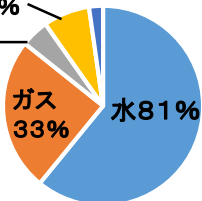
日本における大地震の歴史

時代	発生日・地震名・マグニチュード	被災状況	社会状況
昭和時代（一九二六年～一九八九年）	昭和57年3月21日 北海道浦河沖でM7. 1の地震が発生 7月23日茨城県沖でM7の地震発生	詳細は不明 詳細は不明	◎戦後の日本の歩み ※日本国憲法の公布 ※テレビ放送開始
	昭和58年5月26日 日本海中部でM7. 7の地震が発生した。 6月21日青森県西方沖でM7. 1地震 8月8日山梨県東部でM6の地震発生	死者104人 詳細は不明 死者1人	※東京オリンピック ※大阪万博
	昭和59年1月1日 から9月にかけてM6以上の地震が全国 で4件も発生した。	死者・行方不明者は29人	
	昭和62年3月18日 日向灘でM6. 6の地震が発生した。 5月7日に日本海北部でM7の地震が 発生した。 12月17日千葉県東方沖でM6. 7の 地震が発生した。	死者1人 詳細は不明 詳細は不明	※ご成婚パレード ※石油危機

日本における大地震の歴史

時代	発生日・地震名・マグニチュード	被災状況	社会状況
平成時代（一九八九年～二〇一九年）	平成元年11月2日 三陸沖でM7. 1の地震が発生した。	詳細は不明	◎平成とは  「平成」の由来は、『史記』五帝本紀の「内平外成（内平かにして外成る）」『書経（偽古文尚書）』大禹謨の「地平天成（地平かに天成る）」の平と成で「平成」となりました。 ※「国の内外、天地とも平和が達成される」という意味だそうです。 ◎兵庫県南部地震（阪神・淡路大震災）     ◎何を学ぶか 阪神・淡路大震災から
	平成5年1月15日 釧路沖でM7. 5の地震が発生した。 7月12日北海道南西沖でM7. 8地震 10月12日東海道沖でM6. 9の地震	死者2人 死者・行方不明230人 死者1人	
	平成6年7月22日 から12月にかけてM7以上の地震が全国で4件も発生した。	死者・行方不明14人	
	平成7年1月17日（他に2件発生） 兵庫県南部でM7. 3の地震が発生した。 （兵庫県南部地震）	死者・行方不明6437人	
	平成9年5月13日 鹿児島県北西部でM6. 4の地震が発生	詳細は不明	
	平成10年5月4日 から9月にかけてM6以上の地震が全国で3件も発生した。	詳細は不明	
	平成12年1月28日 から10月にかけてM6以上の地震が全国で9件も発生した。	死者1人	
	平成13年3月24日 広島県でM6. 7の地震が発生した。 12月18日与那国島でM7. 3の地震	死者2人	

日本における大地震の歴史

時代	発生日・地震名・マグニチュード	被災状況	社会状況												
平成時代（一九八九年～二〇一九年）	平成14年3月26日 石垣島近海でM7の地震が発生した。	詳細は不明	◎阪神・淡路大震災の状況 ※倒壊からの人命救助  ●多くの家が一瞬にして倒壊し15万人が生き埋めになった。 ●自力で脱出したり、家族、友人隣人等によって救助された割合は約9割を超えている調査もある。 ※被害状況 <table><tr><td>死者数</td><td>6,434人</td><td>住宅被害(半壊)</td><td>534,780棟</td></tr><tr><td>負傷者数</td><td>43,792人</td><td>焼損棟数(全焼)</td><td>7,036棟</td></tr><tr><td>住宅被害(全壊)</td><td>104,906棟</td><td>焼損棟数(半焼)</td><td>538棟</td></tr></table> ※ライフラインの被害・復旧状況 電気 停電 260万戸 復旧6日 ガス 供給停止 86万戸 復旧84日 水道 断水 50万戸 復旧90日 下水道 被災施設 164Km 復旧93日 電話 故障 10万回線 復旧14日 ※震災時に生活で一番困ったことはなんですか  ●震災直後の初期段階で混乱を招いた最大の原因は、どの市にも備蓄がなく、個人レベルでも備蓄がなかったことである。 ●食料と水の備蓄がいかに大切であるかを教えられた。	死者数	6,434人	住宅被害(半壊)	534,780棟	負傷者数	43,792人	焼損棟数(全焼)	7,036棟	住宅被害(全壊)	104,906棟	焼損棟数(半焼)	538棟
	死者数	6,434人		住宅被害(半壊)	534,780棟										
	負傷者数	43,792人		焼損棟数(全焼)	7,036棟										
	住宅被害(全壊)	104,906棟		焼損棟数(半焼)	538棟										
	平成15年5月26日 から9月にかけてM6以上の地震が全国で5件も発生した。	死者・行方不明2人													
	平成16年9月5日 から12月にかけてM6以上の地震が全国で8件も発生した。	死者68人													
	平成17年3月20日 から11月にかけてM7以上の地震が全国で3件も発生した。	死者1人													
	平成19年3月25日 能登半島でM6.9の地震が発生した。 7月16日新潟県中越沖でM6.8地震	死者1人 死者15人													
平成20年5月8日 から9月にかけてM6以上の地震が全国で4件も発生した。	死者24人														
平成21年8月9日 東海道南方沖でM6.8の地震が発生 8月11日駿河湾でM6.5地震発生	詳細は不明 死者1人														
平成22年2月27日 から12月にかけてM7以上の地震が全国で3件も発生した。	詳細は不明														

日本における大地震の歴史

時代	発生日・地震名・マグニチュード	被災状況	社会状況
平成時代（一九八九年～二〇一九年）	平成23年3月11日（他に11件発生） 東北地方太平洋沖でM8.4の地震が発生した。（東北地方太平洋沖地震） Mw9～9.1	死者・行方不明者2万2千人 「此処（ここ）より下に家を建てるな」と記された石碑（岩手県宮古市）	◎東日本大震災の状況 ※困った事、あるいは、現在も困っている事は？ 食料の調達 6148人 断水 5628人 停電 5320人 交通機関のマヒ 4061人 寒さ対策 3646人 災害情報の入手 2569人 ガスが止まった 2234人 家族の安否確認 2045人 特になし 319人 逃げられなかった 125人 火災 125人
	◎古文書が語る、「先人の教え」		※奇跡の集落 吉浜
			奇跡の集落 吉浜 津波記憶石碑文 一 奇跡の集落 き 絆を大切に 希望を持つて生きる せ 先人の教えを守り 生かされた命 き きたと また来る 大津波 の ぼれ 山へ 高台へ しゅ 集落みんなの命を守るため う 美しい海 青い空 私の故郷 ら せん階段のように みんなで語り伝え 暮らしてゆこう 奇跡の集落 吉浜の里で
	 		二 吉浜に生きる よ 世の中すべての人に伝えたい し 将来必ず大地震の後には大津波が来る は 走れ 高台に ま 間に合うように行動すれば に 逃げる 高いところへ き 今を大切にいきる 命があれば何でもできる き きたと 次の津波の時も 奇跡の集落 る り色の豊かな海に感謝して 吉浜に生きる

日本における大地震の歴史

時代	発生日・地震名・マグニチュード	被災状況	社会状況
平成時代（一九八九年～二〇一九年）	平成24年1月1日 から12月にかけてM6以上の地震が全国で4件も発生した。	死者3人	◎日本の現状（高齢化と生き甲斐） ※人口比率 人口の年齢構成を比較 2000年1億2693万人 65歳～ 17.4% 15歳～65歳 68.1% ～14歳 14.6% 2050年1億59万人 65歳～ 35.7% 15歳～65歳 53.6% ～14歳 10.8% 1200(万人) 0 0 1000(万人) ※高齢者の生きがいを求め ボランティア活動への参加理由 自分自身の生きがいのため 67.7 いろいろな人と交流できるため 58.3 知識や経験を生かす機会が欲しかった 42.6 社会やお世話になったことに対する恩返しをしたかったため 41.4 社会との関わりを持っていたいため 38.0 心身の健康のため 36.7 困っている人を助けたいため 25.3 時間に余裕があるから 20.1 知り合いに誘われたから 18.4 楽しいことをしたかったから 17.9 報酬を得たいから 12.9 現在の社会状況から 3.5 企業で働くことが難しいため 0.8 特に理由はないがなんとなく始めていた 3.1 その他 2.5 無回答
	平成25年2月2日 から10月にかけてM6以上の地震が全国で3件も発生した。	詳細は不明	
	平成26年7月12日 福島県沖でM7の地震が発生した。 11月22日長野県北部でM6.7地震	詳細は不明	
	平成27年5月30日 小笠原諸島西方沖でM8.1地震発生 11月14日薩摩半島沖でM7.1地震	詳細は不明	
	平成28年4月14日（他に5件） 熊本でM6.5とM7.3の地震が発生（熊本地震）	死者258人	
	平成30年6月18日 大阪府北部でM6.1の地震が発生した。 9月6日北海道胆振（いぶり）でM6.7の地震が発生した。	死者5人 死者41人	

わかった事

日本列島は「地震」から逃れられない

平時から災害に備えようとする意識を持ち

自分の命と家族の命を大切に！

おわり

参考文献

- ・フリー百科事典「ウィキペディア」地震の年表(日本)他多数
- ・日本史ノート「地殻変動によってアジア大陸から分離し日本列島が誕生」
- ・いにしえラバイのブログ「火山国ニッポンにおける縄文時代」
- ・千葉県教育委員会「三里塚No.55遺跡出土旧石器時代石器」
- ・草の実堂「旧石器時代 の存在」
- ・巽さんら研究グループ「九州周辺の活火山とカルデラの分布」
- ・神戸大学海洋底探査センター巽教授「海底溶岩ドーム表面に見られる水冷構造」
- ・文化遺産オンライン「大森貝塚出土品」
- ・京都大学防災研究所「針江浜遺跡の液状化跡」
- ・東京大学総合研究博物館蔵「弥生式土器1号」
- ・福岡市博物館「漢委奴國王印」
- ・朝日新聞DIGITAL「三内丸山遺跡＝青森市」他多数
- ・檜葉町教育委員会(弥生土器)
- ・九州国立博物館(青銅器)
- ・IPA「教育用画像素材集サイト」、水稻耕作「農機具」
- ・読売新聞YOMIURI ONLINE「大谷海岸で堆積物」
- ・日本の歴史. Com「古墳時代の服装」
- ・服装の歴史(高田装束研究所復元)
- ・IPA「教育用画像素材集サイト」、各時代の食事
- ・秩父市和銅保勝会「和同開珎」
- ・歴史ニュースウォーカー「清和天皇」
- ・防府市仮想歴史博物館「菅原道真」
- ・歴史の総合情報サイト「日本の住まい」
- ・満願寺「北条時宗像」
- ・歴人マガジン「鎌倉時代の刀」
- ・徳川美術館蔵「国宝 短刀 無銘 正宗 名物 庖丁正宗」
- ・長興寺蔵「織田信長像(狩野元秀画/重要文化財)」
- ・サライ. JP「帰雲城」
- ・安土町立城郭資料館蔵「安土城」
- ・種子島開発総合センター鉄砲館「種子島銃」
- ・高台寺蔵「豊臣秀吉像」
- ・学研『名城の天守総覧』
- ・福和信夫名古屋大学教授「東日本大震災で活きた伊達政宗の時代の地震教訓」
- ・日本銀行金融研究所貨幣博物館、大蔵省印刷局記念館顧問 植村峻氏
- ・村岡 祥次氏「日本食文化の醤油を知る」
- ・広島県立美術館特別展「くもんの子ども浮世絵コレクション遊べる浮世絵展
江戸の子ども絵・おもちゃ絵大集合！」
- ・日本香堂「日本の香文化」
- ・地震調査研究推進本部「宝永地震による各地の津波高さ」
- ・さいたま市薬師薬王寺円空作仏像
- ・東京大学史料編纂所「江戸大地震之図」
- ・文化庁「史跡名勝天然記念物」
- ・日本地震学会「ジョン・ミルン特集」
- ・山種美術館「生誕150年記念 横山大観 —東京画壇の精鋭—」
- ・小学館「日本大百科全書」
- ・幼年画報「タイシャウ オモチャ ツクシ」
- ・産経新聞社写真部「あどころ」
- ・三重県太田金典氏の撮影「昭和東南海地震の尾鷲市内」
- ・蒲郡市教育委員会「わすれじの記」
- ・高知新聞社「昭和南海地震」
- ・西尾気象庁市役所提供「三河地震」
- ・気象庁「気象庁の歴史」
- ・東京大学地震研究所「輸入された地震計」
- ・防災科学技術研究所「基盤的地震観測網」
- ・株式会社フォート・キシモト「東京五輪(昭和39年(1964年))」
- ・神戸新聞「阪神・淡路大震災」
- ・みんなの介護入居相談センター「超高齢社会の今がわかる」
- ・消防防災博物館
- ・中央防災会議「南海トラフ地震」作業部会
- ・読売新聞社「大谷海岸の地層」